



錦城高校新聞 題字 井口 文章 再刊 第237号 印刷・発行 錦城高等学校新聞委員会 編集室 2017

みんなでつくる 錦城高校新聞

1面・夏休みも錦城生大活躍！ 錦城祭まであと2週間 2面・みやぎ総文に参加しました 震災から6年半、今の宮城

# 夏も大躍進の錦城生！

## 夏休みの部活特集

蒸し暑い日が続いた今年の夏休み。多くの部活や委員会が全国大会や都大会に出場し、それぞれ健闘した。夏休み中も勉強、部活ともに全力投球した錦城生、彼らに大会後の思いを聞いた。

### 全国大会！

7月31日(月)から8月2日(水)、宮城県で開催された全国高等学校総合文化祭新聞部門に新聞委員会編集部が参加した。錦城高校新聞は優良賞を受賞した。

### 新聞委員会

初日、会場では全国から集まった生徒たちに向けて、宮城県の高校生たちによる生徒交流会が行われ、その後、全43班に分かれ班ごとに編集作業を行った。

### 鉄道研究部

鉄道研究部は第9回全国高等学校鉄道模型コンテストに出場し、小名路踏切と高尾の風景という作品において全国大会初出場でモジュール部門のベストプレゼンテーション賞を受賞した。

### 映画研究部

7月25日(火)から27日(木)に第64回NHK全国高校生放送コンテストが開催された。映画研究部は創作テレビドラマ部門準決勝に進出し、制作奨励賞を受賞した。

### 今年のは「森」

錦城祭に向けて夏休み中も活動していた門飾係。門飾は錦城祭実行委員会の門飾係と美術部とが協力して活動して

### 文化部！

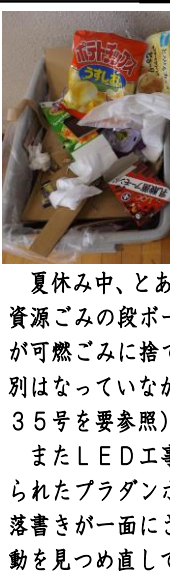
吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールで8月12日(土)にA編成、15日(火)にB編成で演奏を披露した。

### 室内楽部

7月22日(土)に小平福祉園で行われた「こたフェス」に、室内楽部の部員20名が参加した。

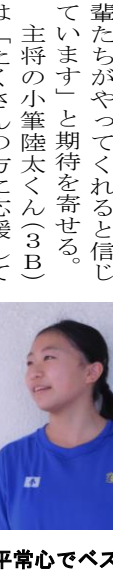
### ゴミ分別改善せず

夏休み中、とある教室のゴミ箱を調べると、資源ごみの段ボールや燃やさないごみのビニール袋が可燃ごみに捨てられ、写真のように未だ分別はなっていない。またLED工事のためエレベーター内に貼られたプラダンボールには引っ掻いたような落書きが一面にされていた。今一度自分の行動を見つめ直してほしい。



### 運動部！

7月22日(土)、第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会の第5回戦、佼成学園高校との試合が府中市市民球場で行われた。

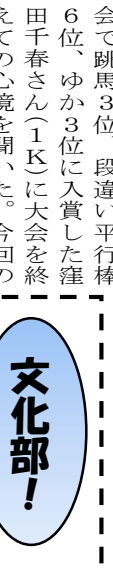


### 野球場

初日から苦しい立ち上がりだったが、5回裏と6回裏で計3点を返す錦城。粘ったものの8回裏に10対3でワールド負けとなった。

### 主将を励ます小筆

8月27日(日)に行われた東京都体協協会女子種目別大会で跳馬3位、段違い平行棒6位、ゆか3位に入賞した窪田千春さん(1区)に大会を終えての心境を聞いた。

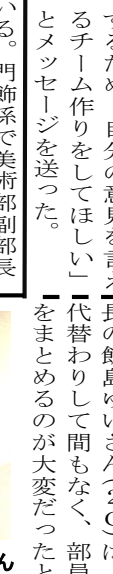


### 体操部

会での上映時もうまく響くように調整した」と福田さんは話した。

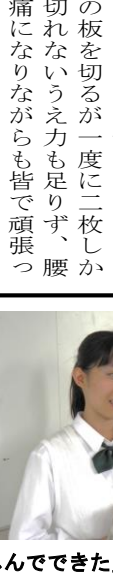
### 吹奏楽部

吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールで8月12日(土)にA編成、15日(火)にB編成で演奏を披露した。



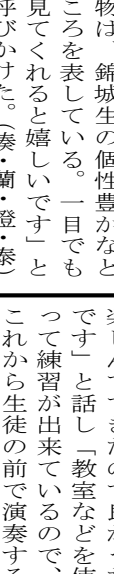
### 室内楽部

7月22日(土)に小平福祉園で行われた「こたフェス」に、室内楽部の部員20名が参加した。



### 文化祭！

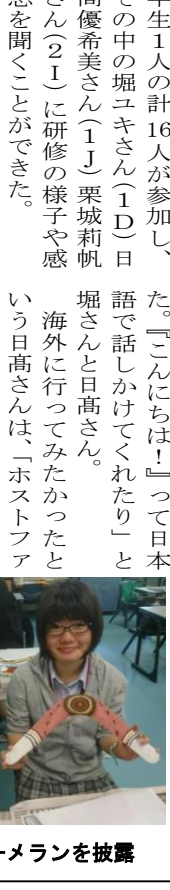
吹奏楽部は東京都高等学校吹奏楽コンクールで8月12日(土)にA編成、15日(火)にB編成で演奏を披露した。



## オーストラリアで一味違う夏を

「学んだのは英語だけじゃない」

7月28日(金)〜8月18日(金)にオーストラリア語学研修が行われ、1年生15人、2年生1人の計16人が参加した。



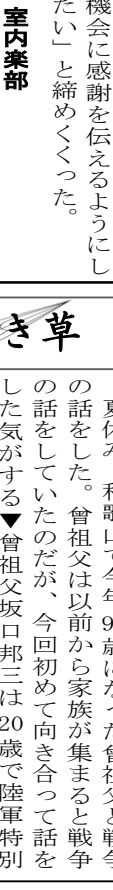
栗城さんは「全部英語だったので、最初周りが何を話しているのかよく分からなかった」と振り返る。

今年度の錦城祭では初めてがベトナムの方だったという掘さんは「オーストラリアは色々な国の人がいて、どれも楽しいです。」

「参加してみたい」と思っている人も少なくない。是非来られる機会があるなら行ってみたい、興味があるなら行ってみたい、と語った。

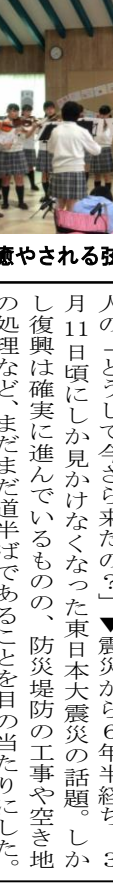
### むらさき草

夏休み、和歌山で今年93歳になった曾祖父と戦争の話をした。曾祖父は以前から家族が集まる戦争の話をしてきたのだが、今回初めて向き合ってきた。



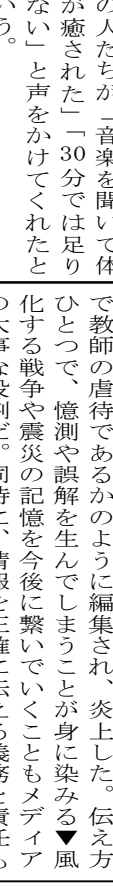
### 心が癒やされる弦楽器の演奏

長山本真奈未さん(2区)は「最初は緊張していたが、後半には楽しかった」と振り返る。



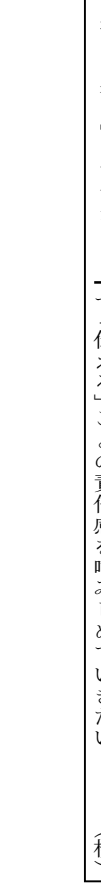
### 「楽しんでできた」と飯島さん

「やることはやった、楽しんでできたので良かった」と話した。



### 「多くの人に参加してほしい」と菅原さん

「失敗することなく、助け合っただけでいい」と話した。





# みやぎ総文特集

# 6年半、復興の現場を訪ねて

編集部では7月31日(月)〜8月3日(木)に行われたみやぎ総文で、宮城県各地の東日本大震災の被災地を巡った。仙台市内は復興が進んでいるように思えたが、未だ東日本大震災の爪跡が残っていた。

今号では、大会中に訪れた被災地を紹介する。次号以降に分けて現状や私たちに出来ることを伝えていきたい。

## ①仙台商人の心意気 「復興市をきっかけに」

「杜の都」といわれる仙台。仙台駅周辺の商店街は大変な賑わいを見せていた。

仙台朝市内の青果店店主の庄子泰浩さんは、ボランティア団体と協力し、津波で塩害を受けた農産物を学生と共産、自宅避難を続ける方などの「生野菜が食べたい」という要望から、支援物資を販売する復興市を開くなどの活動を続けてきた。「復興全体へのひとつのきっかけになればと思っただけです」と庄子さん。復興市を開催したのは1回だけだが、復興への活気溢れる動きは各地で脈々と形を変えて受け継がれている。

## ②石巻の復興記念公園 「形として伝えるために」

石巻市は想定外の津波に見舞われ、死者3181名、行方不明者420名、建築物被害56703棟と甚大な被害だった。南浜・門脇地区は元々住宅地だったが津波に襲われ今も何もない手つかずの土地のままだった。東日本大震災からの復興として国・県・市が協力して「石巻南浜津波復興記念公園」を作る計画が進



石巻の人々を勇気付けた「がんばろう!石巻」看板は、現在2代目



- ①仙台「復興市をきっかけに」
- ②石巻「形として伝えるために」
- ③名取「過ち繰り返さないために」
- ④松島「名所に見られる震災の傷跡」
- ⑤亶理「郷土料理でおもてなし」
- ⑥七ヶ浜「一つひとつ手作業で」

められている。犠牲者の追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承が目的だ。石巻市職員の岡浩さんは「大きな震災があっても、恐怖はやがて風化してしまう」と話す。形として残すことに意味があるという。

市内にある石巻魚市場は、東洋一といわれていた全長約654メートル水揚棟が震災によって被害を受けた。漁船誘致推進委員会委員長の須能邦雄さんは、今の市場の魚に放射能は含まれていない。しかし「放射能を浴びた海産物を食べる」という風評被害が現れているという。消費者の不安を取り除き安心して魚を購入できるように検査を続けているそうだ。

## ③名取生徒が考案AR観光「過ち繰り返さないために」

宮城県立農業高校の教員山根正博さんによると、60年前の津波の教訓が十分に生かされておらず、名取の閑田地区では100人以上が津波の犠牲者となった。同じ過ちを繰り返さないために、農業高校の生徒達の手で、AR観光ツアーを生



60年前の津波について記された石碑。3.11の津波で6.3mの日和山の上から流されてしまった

み出した。これはタブレットで震災当時とその後を比較でき、教訓を視覚的に伝えていくことができるものだ。

名取市にある美田園第一応急仮設住宅で、自治会長である高橋善夫さんから仮設住宅の現状などを聞いた。現在、仮設住宅で暮らしている人は、来年の5月には退去する

## 宮城のグルメ&戦国武将

仙台といえば、やはりグルメ!ここでは私たちが大会中に味わった逸品をご紹介します!

笹かまを成形するときのポイントは水加減。多すぎると焼いている間に形が崩れてしまいますが、少なすぎると食感が固くなってしまいます。また、両面を均一の焼き色にするために約30秒ごとにひっくり返しますが、そうして出来上がった熱々の笹かまは絶品で



「利久」中央通り店で働く齊藤さんによると、仙台の牛タンは東京のものに比べ、分厚く食べ応えがあることが魅力。今回いただいたのは名物の牛タン定食!牛タンは驚きの分厚さで、歯応えがあるのに噛み切れる柔らかさ。塩味が牛タンの旨味を堪能できます。



## 蔵王に行くとき仙台駅で食べられます!!

仙台で伊達成実(しげざね)さん(伊達政宗の従兄弟)に遭遇、お話を伺いました。現在、成実さんは「仙台おもてなし武将隊」として仙台、宮城の魅力を伝えるべく、伊達政宗公率いる8人で主に活動しています。彼らは約400年前から2010年に蘇り、仙台城跡を拠点に写真撮影や観光案内、さらには「演武」という刀や槍を用いたパフォーマンスなど、幅広い活動を行っているそうです。成実さんは「大江戸の皆さま、こんにちは。仙台、宮城は良いところじゃ。ぜひ参ってください。わしらは仙台でお待ちしております!」と話してくれました。



## ④松島「日本三景の今、名所に見られる震災の傷跡」

松島は天橋立、厳島に並ぶ日本三景の一つで、260余りの島々から成っている。五大堂からは松島港を見渡すことができる。

実際に歩いてみると一見被災地であることを感じさせない賑わいだったが、工事現場の場所があったり、ダンブカーや大型のトラックが走っていたりと、今もなお復興の最中であることを実感した。松島を散策している途中で瑞巖寺付近で津波到達地点の看板を見つけた。海岸線からおおよそ200メートルあるこの看板の場所まで津波が来ていたことが分かる。

## ⑤亶理 前向きに復興「郷土料理でおもてなし」

宮城県南部の太平洋に面する亶理町に行った。亶理町は魚介類やイチゴが有名で周りは田舎だ。

亶理町で行った。亶理町は魚介類やイチゴが有名で周りは田舎だ。



亶理でとれた食材が味わえる荒浜賑わい回廊商店街



松島にある五大堂で自然に触れながら散策

## ⑥七ヶ浜 復興への道のり「一つひとつ手作業で」

七ヶ浜は震災当時、津波によって流されてきた瓦礫などで足の踏み場も無い状態だった。

七ヶ浜は震災当時、津波によって流されてきた瓦礫などで足の踏み場も無い状態だった。



七ヶ浜町役場の方が町を説明してくれた

した風景が広がっていた。次号以降で更に詳しく取材したことを取り上げていく。

した風景が広がっていた。次号以降で更に詳しく取材したことを取り上げていく。

## 軽音楽部、外部取材を受ける

7月21日(木)に淑徳大学総合福祉学部講師の木下和彦さんから、軽音楽部の5バンドが取材を受けた。木下さんは「音楽の授業と部活の違い」について調査をしているそう

取材を受けたバンドのメンバーの一人、「着時雨」の井上響子さん(3A)は「自分たちが軽音楽部で普段活動している意義を問われることがなかったら、自分で考えて直すいい機会になりました」と話す。

取材後、「バンドには楽譜だけでは表せないものがあります」と例え話も交えて熱心に説明してくれた木下さん。高校生に向けて「これ」と思ったことを、とことん追求してみるといい。部活や勉強や遊びでも、やるなら徹底的に。ぼんやりしている暇はないよ」とアドバイスする。

取材を受けて、「着時雨」のメンバーはこれから「メンバー」とバンドの時間を大切にしたい。受験勉強と個々の技術の向上を両立させていきたいです」と抱負を話した。(橙紅)

## 夏の軽音楽部特集

8月21日(月)錦城の多目的ホールで、錦城高校、正則高校、明優高校、立川高校の4校による重音楽祭が開かれた。去年は台風の影響で中止になってしまったため、今回は2年ぶりの開催だ。

「自分は2年間この重音楽祭に参加できず、3年生でようやく出ることができて本当に嬉しいです。自分は今が最後の合同ライブですがそれが重音楽祭でよかったです」と演奏前に話したのは、木天音さん(2年)は、2番目の出演で緊張していたそうだが、観客があたたかく、とても盛り上がり楽しかったと話した。一般教室での練習のため、なかなか大きな音を出して練習することができないという。普段の発表はオリジナルの曲のみ。今回の重音楽祭に出演してみたいと、木天音さんは、重音楽祭の魅力を伝えていきたいと話した。(巴・鶴)

## 2年ぶり待望の重音楽祭

激しくギターをかきならす

女子種目別大会  
跳馬3位、ゆか3位、段違い平行棒6位 窪田千春(1K)

吹奏楽部  
▽8月12日(土)  
東京都高等学校吹奏楽コンクール

弓道部  
▽8月23日(水)  
東京都個人選手権大会

## 大会報告

野球場  
▽7月22日(土)  
第99回 全国高校野球選手権大会 西東京大会  
3対10 敗退(ベスト16)

映画研究部  
▽7月25日(火)〜26日(水)  
第64回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会  
テレビドラマ部門  
準決勝進出(ベスト20)

ソフトボール部  
▽7月29日(土)  
私学選手権大会 予選トーナメント  
1回戦 対豊南 10対0  
2回戦 対白梅学園・東京純心・八王子 合同 3対4

**生徒会 重音祭**

7.20~8.31

錦城祭実行委員会  
後夜祭実行委員会

夏休み中に活躍した部活動の大会報告待っています!